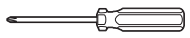
OFS オープンラック 高さtype83 奥行type30・40 / 幅45〜70オーダー
組立説明書

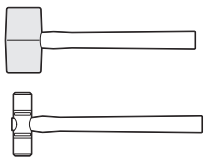
Officefit（オフィスフィット）

必要な工具

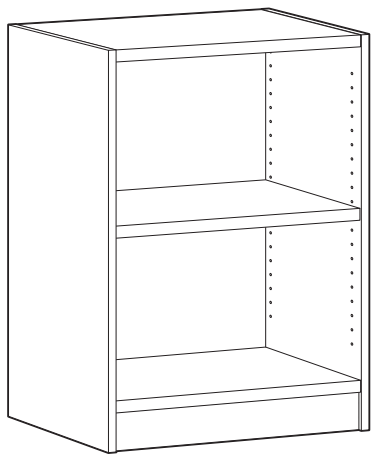
プラスドライバー



ゴムハンマー
プラスチックハンマー



※ハンマーを使用する際は、部材を直接たたいて破損しないように、布や雑誌で部材を保護してください。かなづちでも代用できますが、部材にキズが付きやすくなります。十分にご注意ください。



以下の注意を守り、手順どおりに組み立ててください。組み立て後も、本書を保管してください。

⚠ 注意

- 本書の指示通り、**必ず接着剤を使用**してください。使用しないと、家具の強度は低下します。
- 天災等の不可抗力、**お客様の組み立て作業上の不備**、修理・改造を原因とする故障や破損は保証対象外です。
- 電動工具を使用するときは、低いトルク・回転数でゆっくりと締め、**ビスの締めすぎに注意**してください。締めすぎると、ビスが破損することがあります。
- **インパクトドライバーは使用しない**でください。使用すると、ビスや部材が破損することがあります。
- 床や部材が傷つかないように、布などを敷いた上で作業をしてください。

製造元

大洋株式会社　〒427-0017 静岡県島田市南2丁目20番1号　**https://www.taiyo-kk.co.jp**
TEL：**0120-187018**　FAX：**0547-35-3801**　受付時間 9:00〜17:00 土日祝日を除く
お問い合わせフォーム：**https://www.taiyo-kk.co.jp/contact/kojin/**

作業の前に 構造を確認しましょう

主な部材には番号が印刷されています。下のイラストで構造を理解し、部材と付属部品を確認してから組み立ててください。

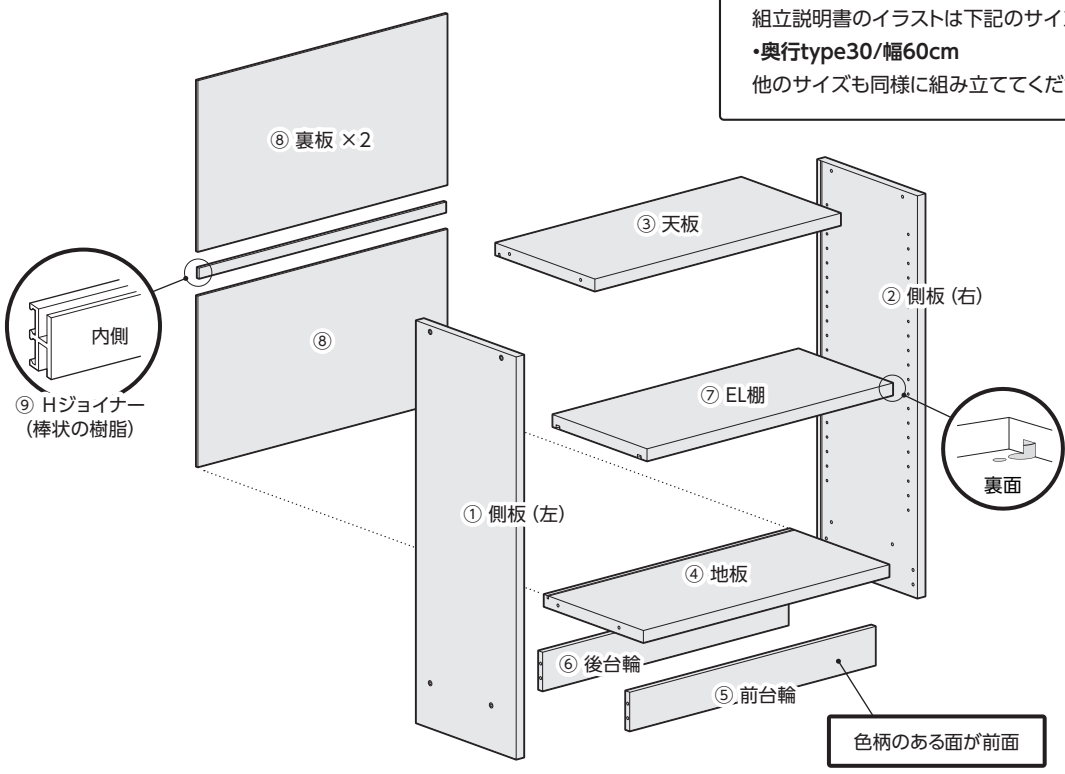
組み立てる前に部材・部品の確認！

●**種類・数量**（説明書と照合）　●**外観**（破損・キズ・汚れなど）

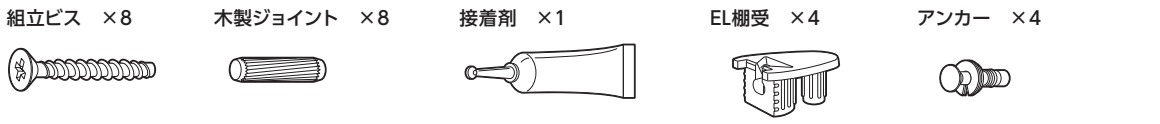
万一問題があった場合は、**組み立てる前に**、お買い求めの
販売店　**インターネットショップ・サービス窓口** など
へお問い合わせください。

イラストについて

組立説明書のイラストは下記のサイズです。
・奥行type30/幅60cm
他のサイズも同様に組み立ててください。



付属部品

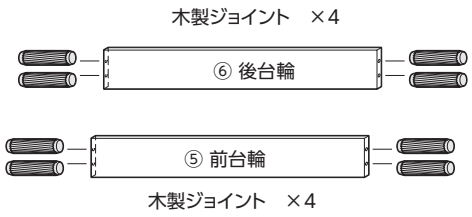


STEP 1 前後台輪に木製ジョイントを差し込む

木製ジョイントを差し込む

木製ジョイントは、長さの3分の2程度が入るように、差し込んでください。入りにくい場合は、ハンマーで軽く打ち込んでください。





⚠ 注意

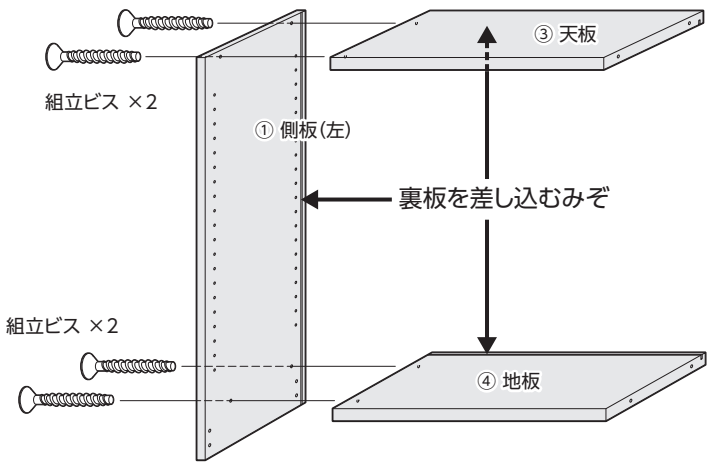
台輪に木製ジョイントを差し込む際は、接着剤を使用しないでください。
ひび割れる恐れがあります。



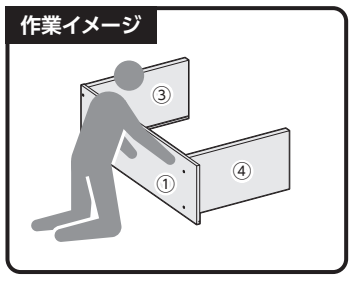
STEP 2 側板（左）に天板・地板を取り付ける

側板（左）に天板・地板をビス止めする

ビスを均等に締めていくと安定します。



作業イメージ

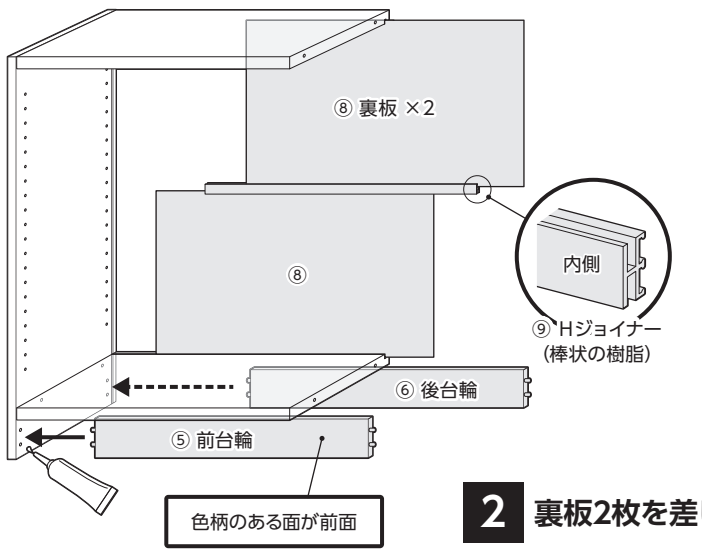


STEP 3 前後台輪を取り付ける 裏板を差し込む

⚠ 注意　オプション

裏板穴加工　壁面固定補助具用穴加工

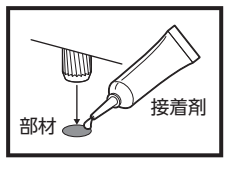
をご購入された方は、組立説明書の2枚目にあります、オプションの説明書を先にご覧ください。



1 前後台輪を接着剤を入れて取り付ける

前台輪は色柄のある面が前面です。

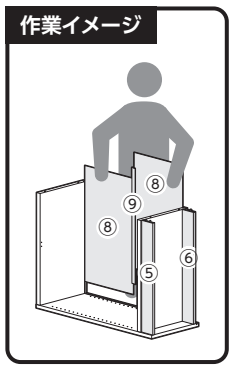
⚠ 注意　側板（左）にある台輪の取付穴（4か所）に必ず接着剤を流し入れてください。



2 裏板2枚を差し込む

2枚の裏板の間にHジョイナーを入れ、天板・地板・側板のみぞにはまるように差し込みます。裏板・Hジョイナーは色柄のある面が内側です。

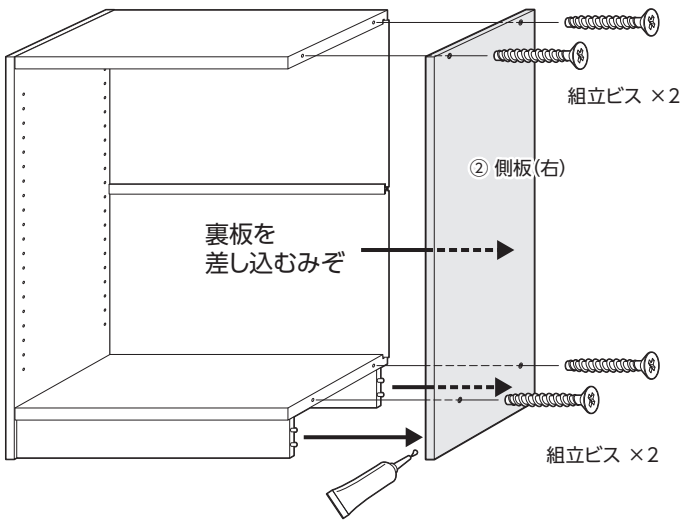
作業イメージ



裏面へ▶

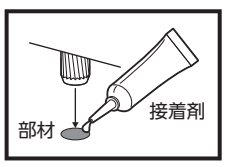
© TAIYO CO.,LTD. All rights reserved.

STEP4 側板(右)を取り付ける



1 前後台輪を接着剤を入れて取り付ける

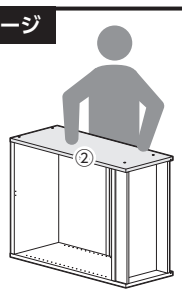
⚠注意 側板(右)にある台輪の取付穴(4か所)に必ず接着剤を流し入れてください。



2 側板(右)をビス止めする

ビスを均等に締めていくと安定します。

作業イメージ



⚠注意

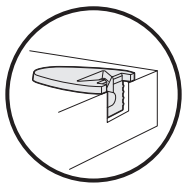
オプション アジャスター

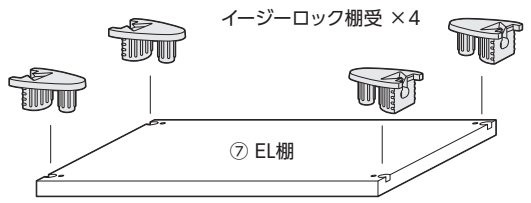
をご購入された方は、組立説明書の2枚目裏面にあります、オプションの説明書を先にご覧になり、商品を起こす前に、アジャスターを取り付けてください。

STEP5 EL棚にイージーロック棚受を取り付ける

棚板にイージーロック棚受を取り付ける

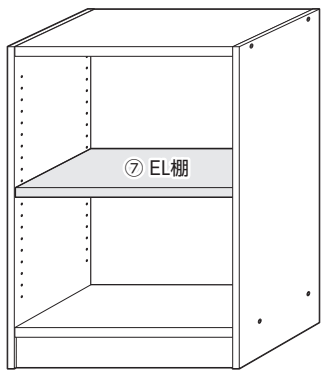
EL棚の裏面にある穴・溝(4か所)にイージーロック棚受を取り付けます。入りにくい場合は、ハンマーで軽く打ち込んでください。





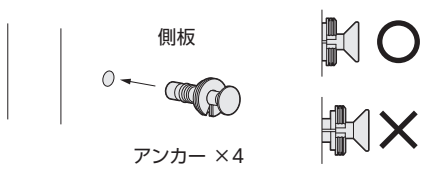
STEP6 EL棚を取り付ける

ゆっくりと起こしてください



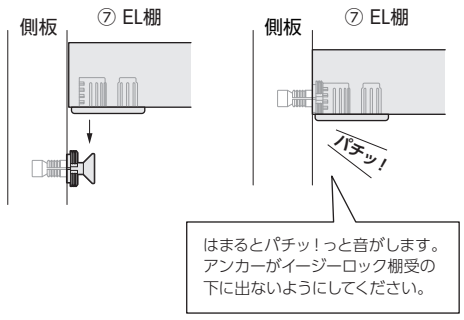
1 アンカーを取り付ける

側板にアンカーを4か所取り付けます。
しっかりと差し込んでください。



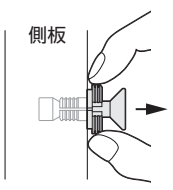
2 EL棚を取り付ける

イージーロック棚受にアンカーがしっかりとはまるように、一か所ずつ確実に取り付けてください。



取り外し方

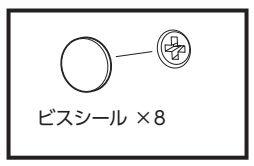
棚板を下から軽くたたいて外し、アンカーをイラストの様につまんで抜いてください。側板とアンカーの樹脂のすき間に指を入れて抜くイメージです。

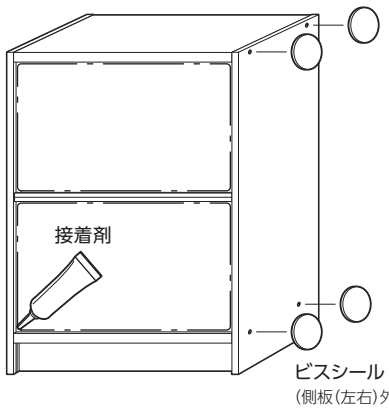


STEP7 仕上げをする

1 ビスシールを貼る

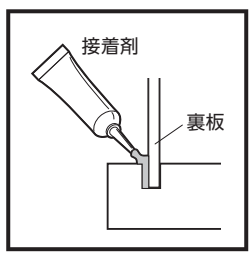
側板の外面にあるビス穴(8か所)をビスシールで隠します。





2 接着剤で補強する

強度を増すため、裏板とみぞのすきまに接着剤を流し入れます。



⚠注意

必ず接着剤を使用してください。
使用しないと、設計上の強度は得られないため、故障や破損は保証対象外となります。

オプションの扉をご購入された方は、
■ラックを固定するに進んでください。

■ラックを固定する

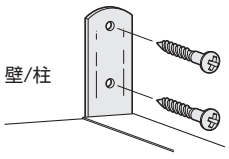
※パーツオプションで扉をご購入されたお客様のみの作業です。
※追加のオプション購入などで、使用する場合がございますので、
今回ご使用しない方も、ジョイントプレートを大切に保管してください。

ジョイントプレートでラックを固定する

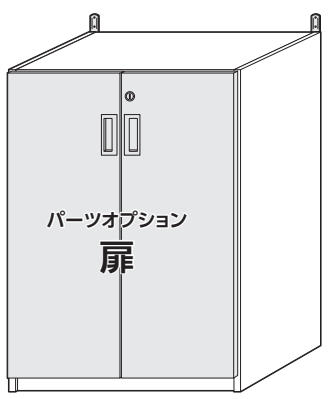
本体ラックの背面にジョイントプレートを取り付けて壁などに固定します。本体ラックが固定されていなかったり、軽い状態で扉を取り付けると、扉の重みで本体ラックが手前に倒れてくる恐れがあります。



1.本体の背面にジョイントプレートを取り付けます。



2.ジョイントプレートで壁と固定します。



社内耐荷重基準値【条件:24時間後計測・たわみ率0.5%・安全率1/2】

		オーダー幅:45〜70cm (実寸-2mm)
		天板・棚板
本体奥行	29.5cm	15kg
	38.5cm	

※最大幅での計測値となります。

© TAIYO CO.,LTD. All rights reserved.

ここからはオプションの説明になります。　※扉や扉関係のオプションは、組立説明書が別に投入されておりますので、そちらをご覧ください。

オプション加工 壁面固定補助具用穴加工 ※本体ご注文後に加工を承ることはできません。

石膏ボードの確認

取り付けをされる壁面の素材を確認してから作業してください。

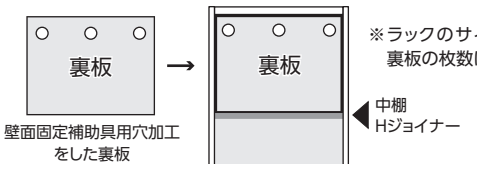
石膏ボードの確認方法

① 壁の目立たない所に画鋲などを刺してご確認ください。石膏の粉がつきます。
② 建築図面をお持ちの方は、図面をご確認ください。
石膏ボード＝ PB(プラスターボード)
※固定ピンを使用する場合には、一般的な石膏ボードには取り付けできますが、【硬質石膏ボードタイプ】の石膏ボードには取り付けることができません。【強化石膏ボード】にも取付可能ですが、押し込む際に曲る恐れがあります。※詳細については、以下の表を参照してください。

一般的な石膏ボード	一般的な家庭でよく利用される石膏ボードです。
強化石膏ボード	耐震強度を上げるために、建物の隅部などに用いられる事があります。
硬質石膏ボード	学校や病院などの廊下に使用される事が多いです。

本体ラックの裏板の位置

壁面固定補助具用穴加工をした裏板はラックの一番上に使用してください。

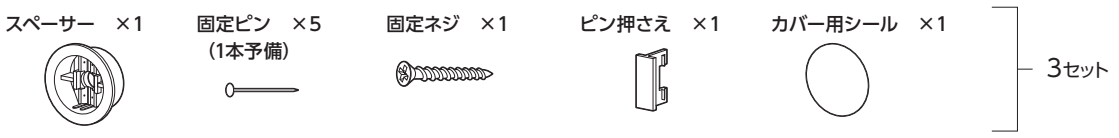


⚠注意

◆壁面固定補助具は、あくまでも製品の転倒防止を補助するための部品となります。地震などの大きな揺れには対応しておりません。
◆下地に間柱などがある箇所についても、固定ピンが曲ってしまい取り付けできない場合がございます。予め下地などを調べた後に、使用目的に合った固定方法を選択してください。
◆固定ピンの頭は小さく押し込みづらい場合がございます。勢いよく押し込むと指を怪我する可能性がありますので、慎重に作業してください。
◆固定ピンにて製品を固定すると、取り外したときに穴が目立ちにくくなりますが、必ずしも穴が小さくなるとは限りません。クロスなどに開いた穴は、市販されている補修材などで修正することをお勧めします。
◆固定ネジを使用すると固定ピンよりも強度を増して固定することができます。但し、取り外したときの穴も大きくなります。

付属部品

⚠注意　鋭利な固定ピンなど部品が含まれておりますので、開封の際には十分注意してください。部品箱に入っております。



使用可能部品の確認

一般的な石膏ボード	固定ピン	○
	固定ネジ	○
強化石膏ボード	固定ピン	△
	固定ネジ	○
硬質石膏ボード	固定ピン	×
	固定ネジ	△

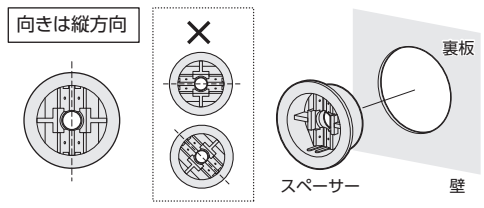
設置時の固定方法を選択

固定する力が強い

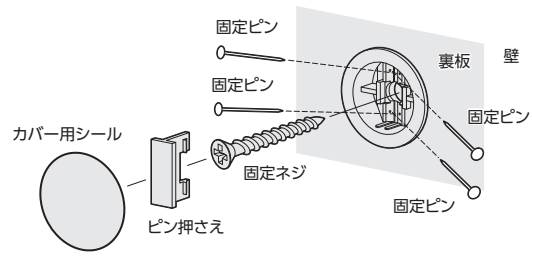
① 穴が目立ちにくいピンで固定	一般的な石膏ボード専用	固定ピン ×4
② しっかり固定できるネジで固定		固定ネジ ×1
③ 両方使って固定	一般的な石膏ボード専用	固定ピン ×4　固定ネジ ×1

1 裏板にスペーサーをはめ込む

⚠注意
強度確保のため、スペーサーには向きがあります。
向きを間違えますと抜けやすくなり大変危険です。



2 部品を固定する



⚠注意　固定ピンはコインなどで押し込んで、必ず根元まで差し込んでください。強度確保のため、ピン押さえ・カバー用シールは、必ずご使用ください。

オプション加工 裏板穴加工 ※本体ご注文後に加工を承ることはできません。

※裏板穴加工がされた裏板を何段目にするか決めてから組み立てを行ってください。

裏板の位置

※組み立て後の変更はできません。

裏板を180度回転させることによって、穴の位置(上下)を選べます。

付属部品

ゴムコーダー　×2

ゴムコーダーを裏板に取り付ける

向きに注意してください。

⚠注意
・ゴムコーダーを取り付けた場合、ゴムコーダーのある高さにEL棚の取り付けはできません。
・ゴムコーダーは最後に取り付けてください。EL棚が取り付けられなくなる場合がございます。

オプション加工 連結穴加工 ※本体ご注文後に加工を承ることはできません。

1 ボルトとナットで連結する

側板に加工されております、連結用の穴に、連結用ボルト、ナットを差し込んで連結します。



※イラストは連結用ボルトを左から取り付けておりますが、どちらからでもかまいません。

付属部品

※ラック1本に投入されている部品数

連結用ボルト・ナット　×2セット

ビスシール（大小）　×各4

2 ビスシールを貼り付ける

連結用ボルト・ナットや、使用していない連結穴を隠す様に貼り付けます。

ビスシール(大) → ラックの内側に使用
ビスシール(小) → ラックの外側に使用

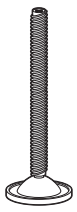
裏面へ▶

© TAIYO CO.,LTD. All rights reserved.

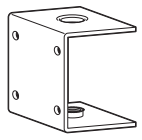
オプション加工 アジャスター ※本体ご注文後に加工を承ることはできません。

付属部品

アジャスター ×4



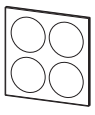
サポート ×4



ビス ×16



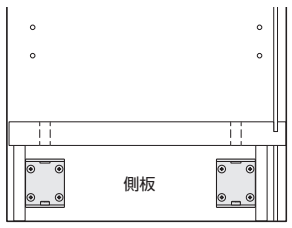
ビスシール ○×4

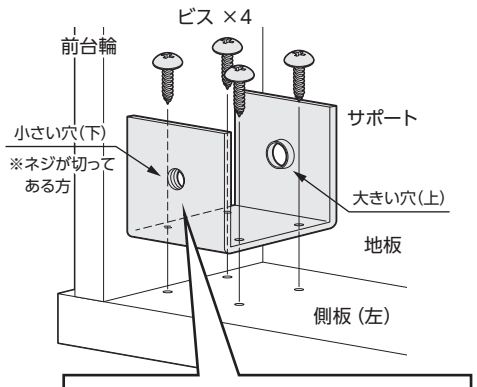


1 側板(左右)にサポートを取り付ける

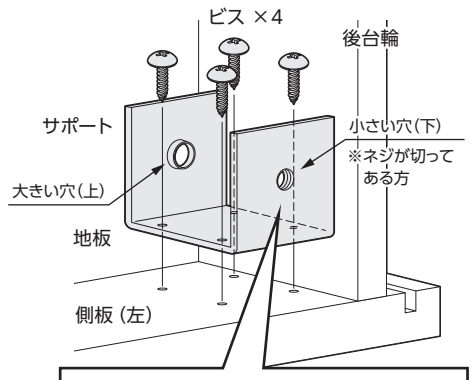
前後台輪内側の側板に取り付けます。イラストは側板(左)ですが、側板(右)も同様に取り付けてください。

取り付け位置





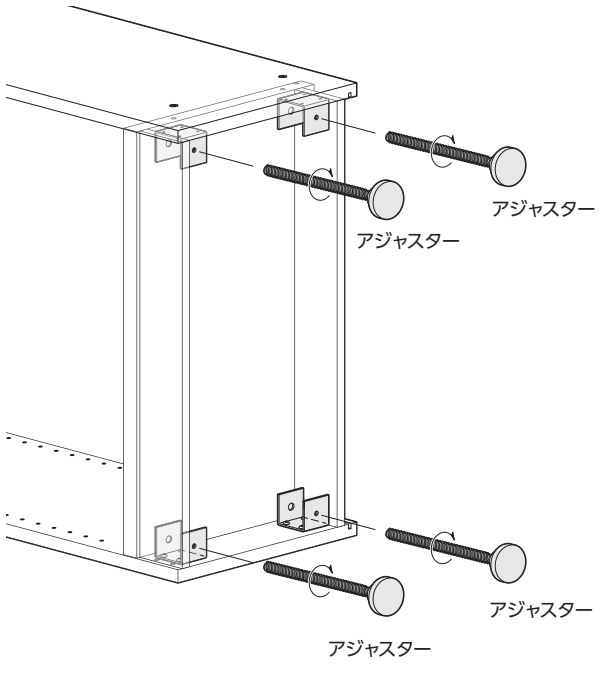
⚠注意 サポートの向きに注意!
小さい穴が下になります。



⚠注意 サポートの向きに注意!
小さい穴が下になります。

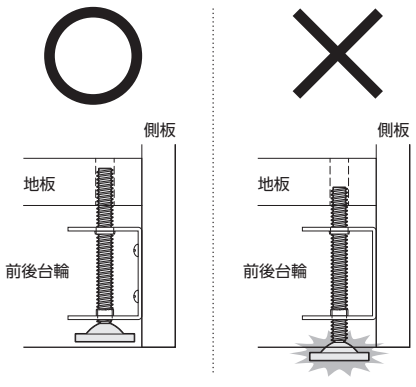
2 アジャスターを取り付ける

下からサポートの穴に取り付けてください。



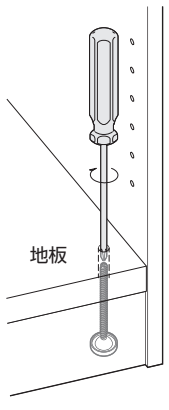
⚠注意 側板・台輪より中に入るよう回し入れます。

側板・台輪より下に出ていると、本体ラックを起こした際に、床が傷付いたり、商品が破損する恐れがあります。

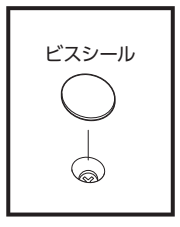


3 アジャスターの調整、仕上げをする

地板の穴からドライバーでアジャスターを調整します。
アジャスターが傾くような使用はしないでください。



調整が終わりましたら、穴(4か所)をビスシールで隠します。



© TAIYO CO.,LTD. All rights reserved.